

科目名		産業人間工学論文指導	
科目責任者		森 晃爾 (産業衛生学専攻委員長)	
開講時期:	2年次	単位数:	6 単位
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>過去の知見および現在の社会的ニーズ等に基づき、研究テーマの策定ができ、研究計画策定、実験計画策定、実験システムの構築、実験実施、データ解析、論文執筆の一連の流れを理解し、かつ実施できる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去の知見をレビューして、問題点と新しい課題を指摘できる。 2) 産業人間工学領域における社会的ニーズが把握できる。 3) 上記より、研究テーマが策定できる。 4) 研究テーマに基づいた実験計画が策定できる。 5) 実験システムの構築ができる。 6) 実験遂行に係わる種々の事項(被験者手配等)が実施できる。 7) 得られたデータのデータマネジメント(統計解析等)ができる。 8) 結果の解釈とまとめができる。 9) 他の論文等を引用しながら、考察ができる。 10) 以上をまとめて、論文作成ができる。 			
● 評価方法	論文作成プロセス50%および論文の内容50%で総合評価する。		
● 参考文献	指導の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業内容

内容	担当教員
実習、演習を通して得た知識に基づいて、産業人間工学領域における研究テーマの設定についての指導を行う。	
選択したテーマに関して、研究手法や倫理的配慮などの指導を行うとともに、実験システムの構築についての実践的な指導を行う。	
実験によって得られた結果の解析方法、解釈の仕方、まとめ方についての指導を行う。	
研究テーマに関連する種々の事項について、その理解を深めるための方法についての指導を行う。	
自律神経系を中心に、生体信号処理および統計解析に関する論文指導を行う。	